

村尾先生の訃報に接して

中西 卓

あの弁舌さわやかな村尾先生の訃報を受けて厳粛な思いがします。心からご冥福を祈ります。

先生と呼ぶのは訳があります。何年も前、同窓会の帰りに3B級友10人程が京橋駅近くで池田先生を囲んでお茶を飲みました。そのとき村尾兄と隣席になり

「長男が公務員の一次試験に受かって近く2次の面接があるんだが」と話したら、「林野庁には知ったのがいるからよく言っといてやる」との話。有難く受けて その夜盛岡の息子に電話したら、「とんでもない、やめてくれ」と言う。地方大学の林学科生にまで氏の異端ぶりが届いていることが分って、そのままそっとしています。

先生とはその後会うこともなく過ごしてきましたが、瀬戸大橋を渡って会っておけばよかったなと悔やんでいます。ミュンヘン大学に留学、帰国後愛媛大学の教授に、著書は‘果物になったトマト’以後、今年の‘森と人間と林業’まで計5冊書棚にあります。その中で‘間違いだらけの日本林業’は息子が知らせてきました。

先生の主張は極めて正道で、生涯孤高で来られたことに敬意を持っています。日本の林業政策が間違っているのは 杉・檜の純林が環境破壊であることから明らかです。

村尾先生 安らかに眠りください。 中西 卓

2020-7-30